

# 研究成果発表会

令和8年2月6日(金)  
13:00~16:00  
(受付 12:30~)

場所：久米南町コミュニティセンター  
ホール  
(久米南町下弓削502-1)

岡山県での  
造林に適した  
早生樹種の選抜



ヒノキ大径丸太  
内部における  
材質の変動



CLTの  
新たな分野での  
利用方法の検討



ドローン空撮による  
山火事跡地調査



右記QRコード（岡山県電子申請サービス）

または電話,FAX,メールよりお申込ください

※お申込の際は氏名,電話番号, メールアドレスをお知らせください

申込期限：令和8年1月30日(金)

TEL：0868-38-3153 , FAX：0868-38-3152

メール：ringyo@pref.okayama.lg.jp

※詳細は裏面をご確認ください



# 日 程

13:00～ 開会

13:10 「岡山県での造林に適した早生樹種の選抜」  
～13:40 (林業研究室 専門研究員 阿部 剛俊)

コウヨウザンなどの早生樹は、用材利用やバイオマス利用を目的とした造林樹種として期待されています。県北部3箇所には植栽された、複数樹種の早生樹候補木の初期の生育状況を調査した結果から、岡山県での造林に適した早生樹種を選抜したので報告します。

13:40 「ヒノキ大径丸太内部における材質の変動」  
～14:10 (木材加工研究室 専門研究員 野上 英孝)

県内のヒノキ人工林は高齢級化が進行し、今後は大径丸太の供給量の増加が見込まれます。ヒノキ大径丸太からは、柱や梁などの構造材に加えて、ひき割・板類など、様々な品目製造が可能となりますが、これらの木取りを検討する上で重要な、大径丸太内部における基礎的な材質の変動を調査したので報告します。

( 休 憩 )

14:20 「CLTの新たな分野での利用方法の検討」  
～14:50 (木材加工研究室 専門研究員 道場 隆)

CLT(直交集成板)は、建築分野への利用推進に向けた体制は整備されてきていますが、建築分野以外への利用は限定されています。原木価格の安価なヒノキ小径木から採材した丸身付きラミナ(挽板)を活用することで、原木の歩留まり向上等を図りつつ、面材料の利点を生かした仮設橋資材等としての利用を検討したので報告します。

14:50 「ドローン空撮による山火事跡地調査」  
～15:20 (林業研究室 専門研究員 牧本 卓史)

令和7年3月に岡山市及び玉野市で発生した山林火災跡地において、ドローン空撮を用いた巨石分布調査を実施しました。計画から実施、解析に至る調査の概要と、災害初動調査における当該技術の活用可能性について考察したので紹介します。

15:25 展示している研究内容のパネルの説明・  
～16:00 普及資料の展示を行います。

